

令和7年度 事業計画書

令和7年6月10日～令和8年3月31日

一般財団法人 佐々木洋寧奨学財団

この法人は、経済的理由による就学困難者への奨学援助及び若者の成長を図る自立支援活動を行うことで、次世代の担う若者へ「学び」と「成長」の機会を提供し、一人ひとりの可能性を育む自らの力で未来へと踏み出せる社会構築に寄与してまいります。また、今年度も引き続き法人運営の基盤確立にも努めてまいります。

【公益事業1】奨学金の給付

取り組み①：佐々木洋寧奨学金制度

1. 事業の趣旨・概要

我が国の奨学金事業は、昭和18年創設の財団法人大日本育英会に始まり、無利子貸与型としてスタートし、学生数等の増加により規模を拡大してきました。しかし現在では、社会に出ると同時に奨学金返還義務を負う若者が、経済的・精神的な重荷を抱えて社会生活をスタートするという課題が深刻化しています。こうした現状を受けて、国においても給付型奨学金の拡充が図られておりますが、未だ十分な支援体制が整っているとは言えません。

この法人が掲げる「どのような状況にあっても、学びたい・成長したいという情熱を持つ若者が、未来へと踏み出せる社会を創る」という理念に基づき、学ぶ意欲と社会への関心を持ちながらも経済的な理由により就学継続が困難な学生に対し、安心して学業に専念できるような環境づくりを支援する為、返済義務のない給付金の給付を行ってまいります。

将来、支援を受けた若者たちが社会に貢献し、次の世代へと「恩送り」の輪を広げていくことを期待し、私たちは今後も継続して支援を続けてまいります。

なお、奨学生の進路等について、この法人は一切関与いたしません。

また、本年度は令和8年度の奨学生募集に向けた準備対応（ホームページ準備など）のみを実施し、募集及び選考、採用、対象者への奨学金給付は令和8年度に実施いたします。

【公益事業2】若者の成長に向けた育成・自立支援

取り組み①：若者支援セミナー

1. 事業の趣旨・概要

現代の若者たちは、将来に対する不確実性や情報の過多、人との関わりの希薄さとい

った社会環境の中で、自らの人生に責任を持ち、主体的に歩んでいく力を培うことがこれまで以上に求められています。特に大学生や社会人として歩み始めた若手世代は、学業から社会への移行期にあり、自らの価値観や人生観を確立し、自信を持って社会に参画していくための内面的な土台づくりが不可欠と考えています。

この法人では、若者が自分の在り方と向き合い、社会の一員としての自覚と責任感を育み、人生を自らの手で切り拓いていけるような力を養い、また地域社会や次世代に貢献していく人材として共に成長する学びの機会の提供を目的に、学業から社会への移行期にある大学生や、社会人としての初期段階にある若手層を対象としたセミナーを行います。

将来、学びを通じて成長した若者たちが社会で活躍し、その学びや気づきを次の世代へとつなげていく「恩送り」の循環が生まれることを願い、こうした学びを促す支援を今後も続けてまいります。

なお、本セミナー参加者の進路等について、この法人は一切関与いたしません。

2. 実施内容

本年度は、初年度にあたり、事業期間・準備期間も限られているため、「学生支援セミナー」の取り組みを見合わせることも検討しましたが、次年度以降の実施に備え、他企業が行うセミナーへの協賛を行うこととします。

本セミナーの協賛にあたっては、セミナーの目的、役割分担、経費負担、個人情報の取扱等については、書面により契約を締結する予定です。

なお、本協賛はあくまでも次年度以降の「学生支援セミナー」の取り組みに向けたものであり、協賛企業の宣伝にかかるものではありません。また、次年度以降はこの法人単独開催での「学生支援セミナー」の取り組みを行ってまいります。

【協賛予定のイベント】

開催地	日程	会場
名古屋	令和7年12月8日（月）	オフィスパーク名駅プレミア会議室
大阪	令和7年12月22日（月）	新大阪丸ビル別館
福岡	令和7年12月23日（火）	リファレンス博多駅東ビル
東京	令和7年12月25日（木）	ビジョンセンター品川アネックス

3. 実施目的と今後の展開

本取組を通じて、若者が主体的に社会と関わる機会の設計方法や、効果的な学び・交流プログラムの在り方を検討し、次年度以降に予定する「学生支援セミナー」事業の企画検討を進めてまいります。

なお、本年度は財団としての基盤整備期にあたるため、本取組を準備的活動として位置づけています。

以上